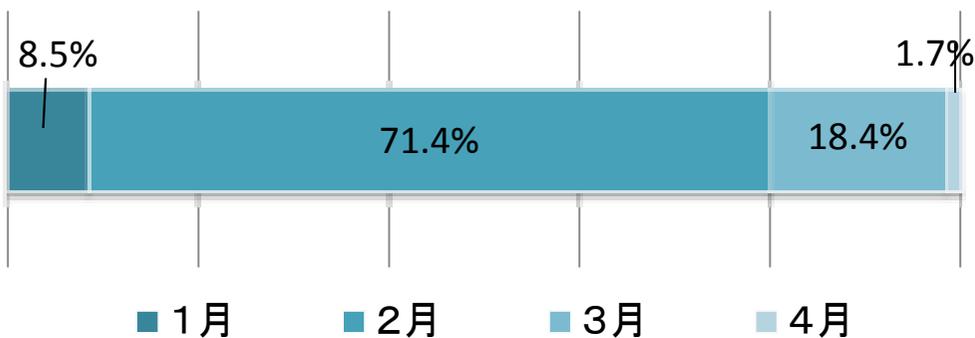


高知県における子どもの育ちを小学校に 引き継ぐ取組について

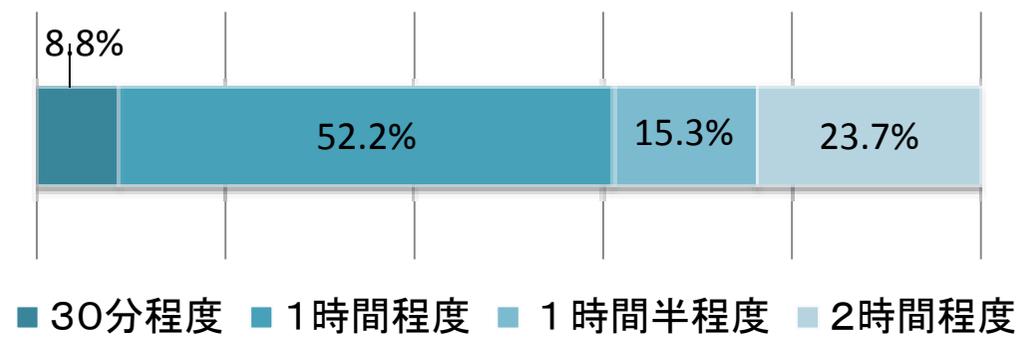
- ▶▶ 1 ▶▶ 年長児に関する小学校との引継ぎ会
- ▶▶ 2 ▶▶ 長期の指導計画の作成の仕方
- ▶▶ 3 ▶▶ 記録と保育士等の自己評価の工夫
- ▶▶ 4 ▶▶ 記録と保育士等の自己評価の工夫による効果
- ▶▶ 5 ▶▶ 保幼小の円滑な接続を支える仕組みづくり

平成29年12月21日
高知県教育委員会事務局 幼保支援課

実施時期

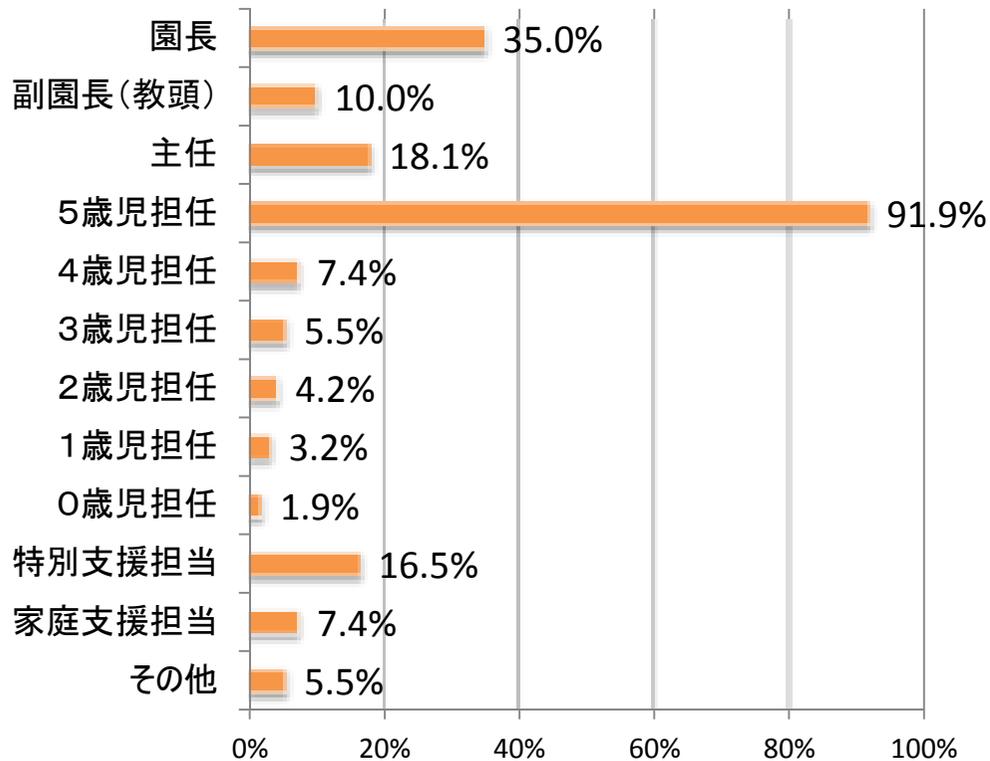


実施時間



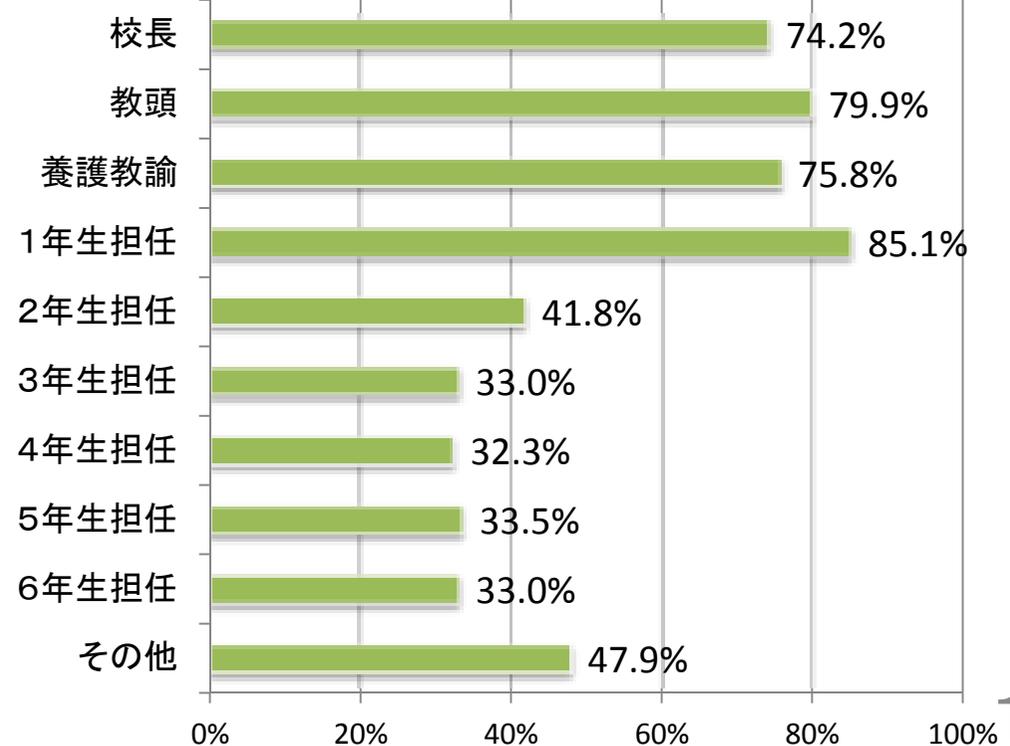
保育所・幼稚園等の参加者

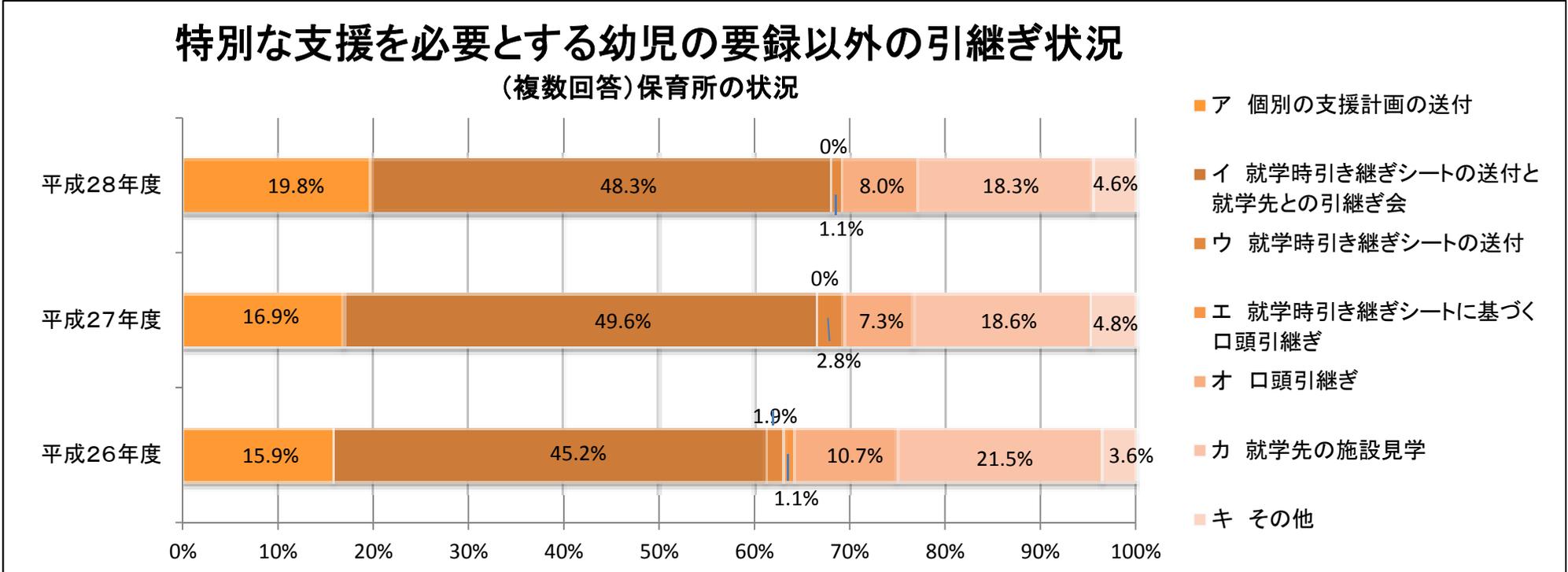
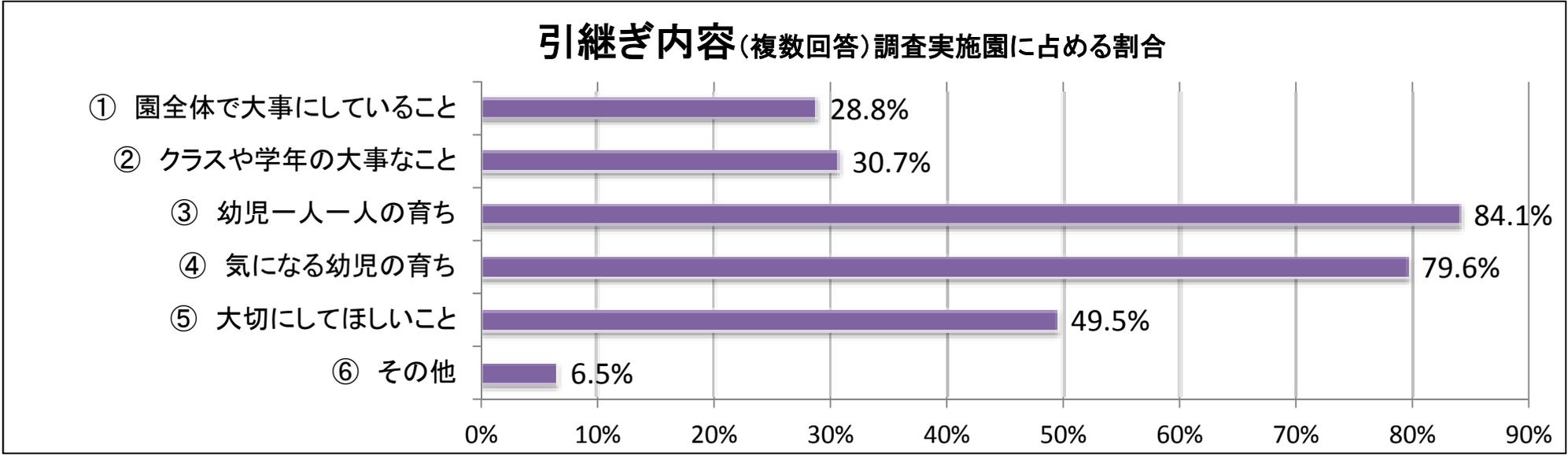
(複数回答)調査実施園に占める割合



小学校の参加者(複数回答)

調査実施校に占める割合

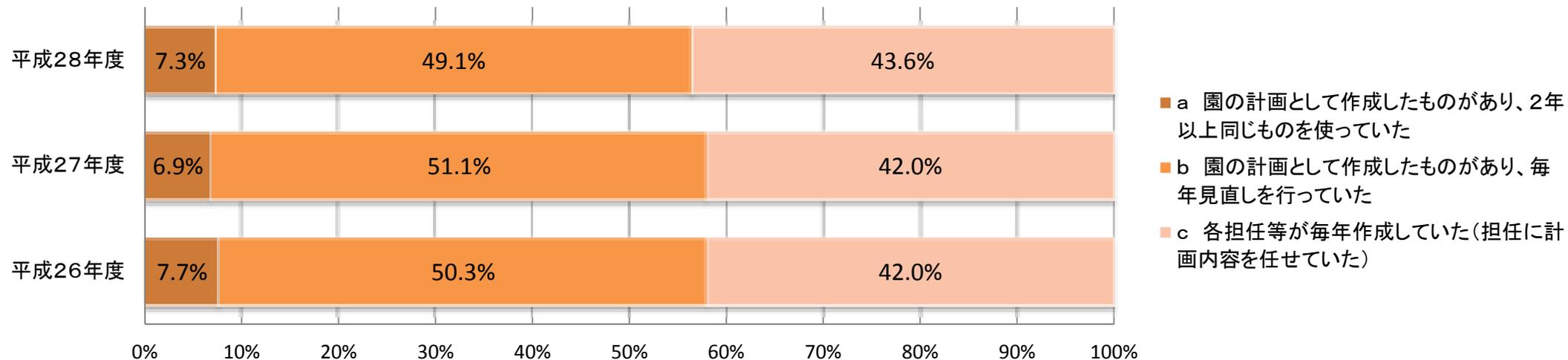




2 長期の指導計画の作成の仕方

H26～28年度間 高知県保育所における園評価等の実施状況調査結果

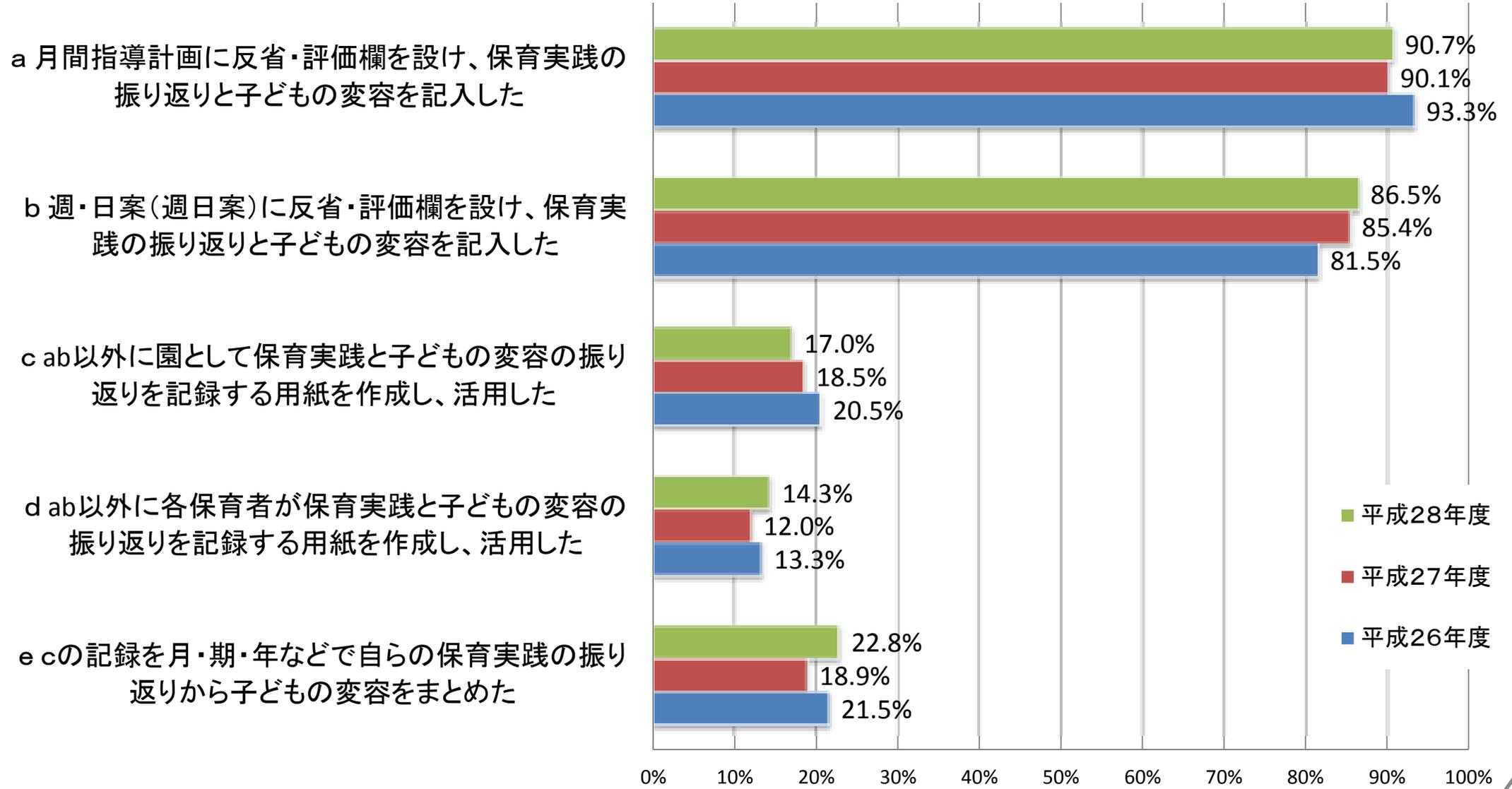
年間指導計画の作成の仕方



3歳児以上の月間指導計画

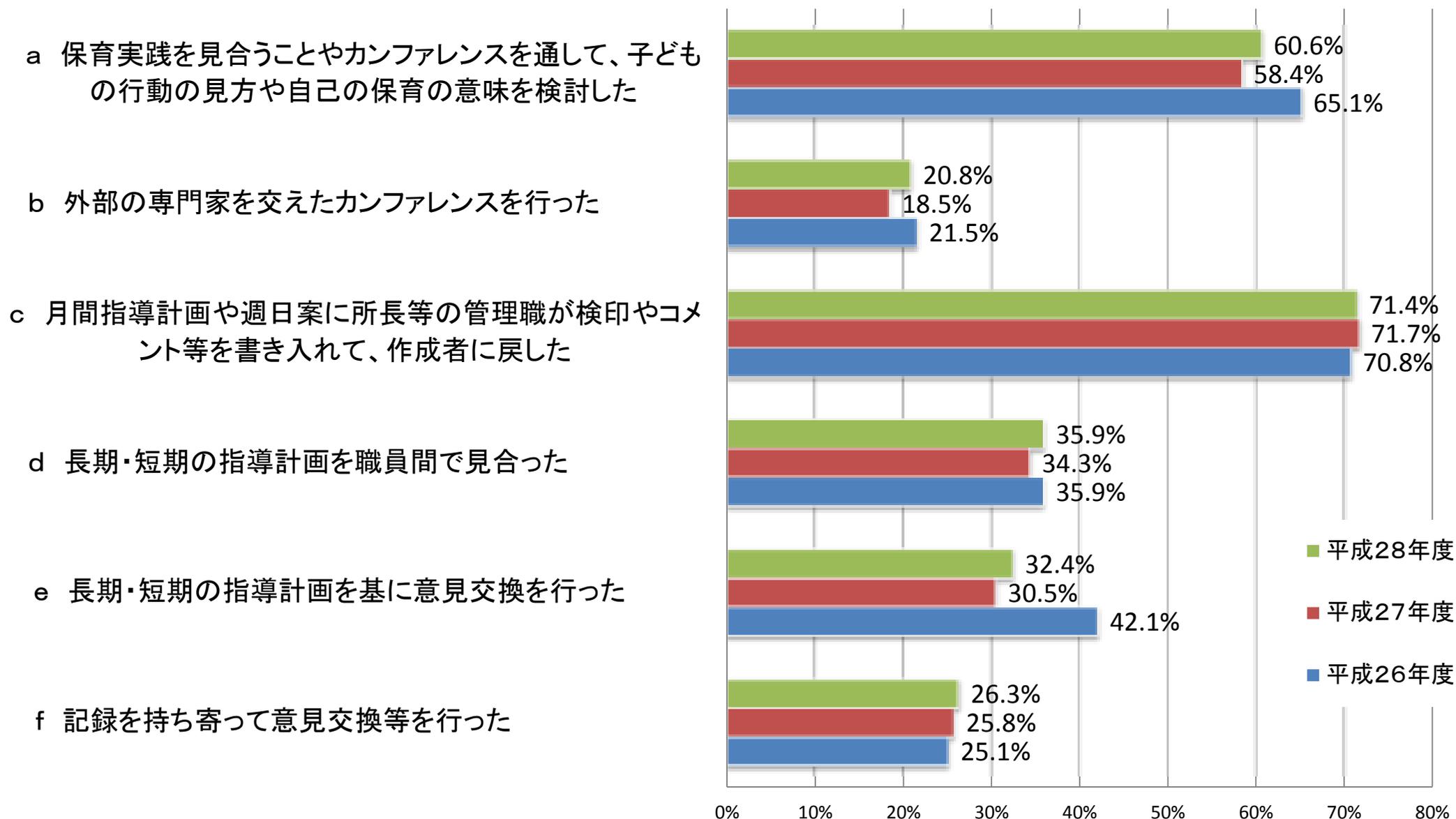


自らの保育実践と、保育を通して子どもが変容することを振り返る記録 の工夫(複数回答) 調査実施園に占める割合

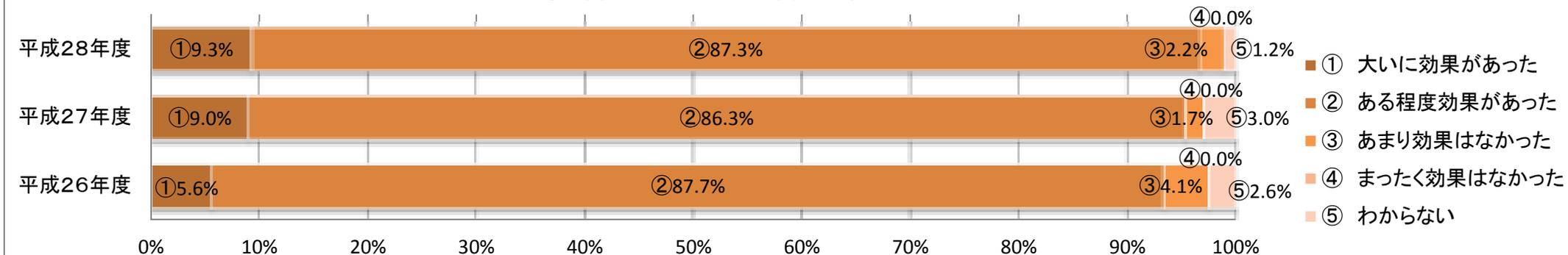


保育士等の自己評価が自己完結的にならない工夫

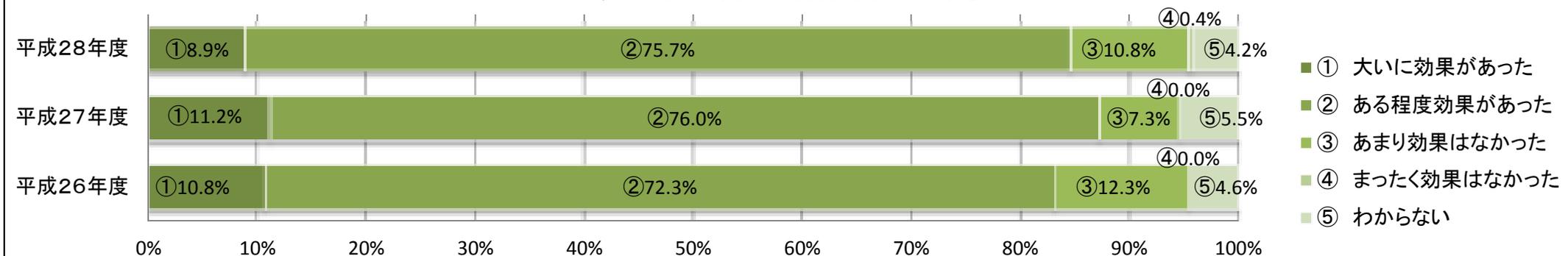
(複数回答) 調査実施園に占める割合



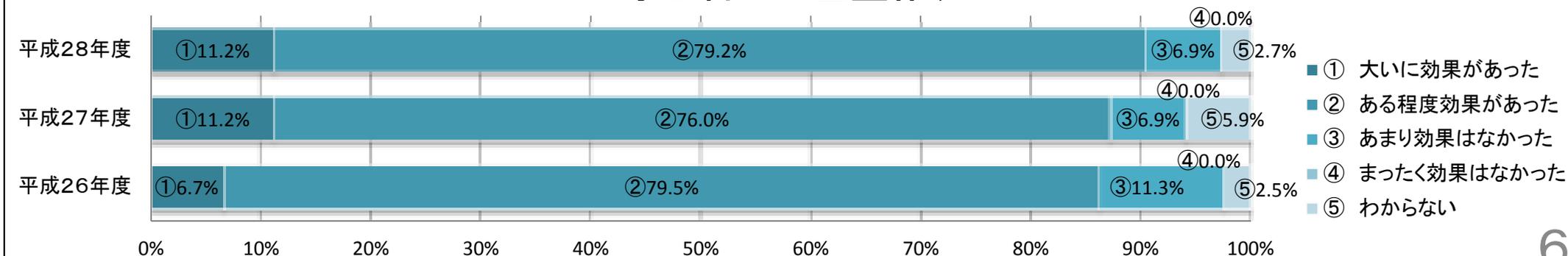
各保育士等の保育実践の向上



職員間の絆や協働性の向上



学び合いの基盤作り



▶▶ 5 幼児小の円滑な接続を支える仕組みづくり

幼児一人
一人の育ち
の引継ぎ

保育所児童保育要録の送付

組織的
な学びの
接続

実践プラン作成の背景・現状・必要性

- ・「小1プロブレム」の発生
- ・基本的な生活習慣の定着が不十分
- ・直接的な体験や自然体験を積む機会の減少

- ・幼児期に育てた力を小学校教育に繋げる必要
- ・基本的な生活習慣を身につけるための継続した取組
- ・直接的な体験や自然体験を積む機会の充実
- ・子どもたちの意欲を高め、自信を持つことができるようにする

接続期実践プランとは

- ・幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図り、幼児期の学びを小学校の学びにつなげるためのもの
- ・接続期とは、一般的に5歳児後半から小学校1年生の概ね1学期終了まで
- ・学びの接続と、接続期を支える保育所等と小学校の職員及び保護者等との交流・連携の取組を含む

接続期実践プランワーキングによる協議

ワーキング委員の構成
県小中学校課(幼小連携担当) 1名、県幼保支援課 2名
教育事務所(保幼小連携担当) 各1名
高知市学校教育課 1名
保育所保育者 1名、幼稚園教諭 1名
助言者
神長美津子(國學院大學教授)
山下文一(松蔭大学教授)
嶋田弘之(埼玉県草加市教育委員会)
実施回数:7回(4月~10月)

実践プラン

保育所・幼稚園等

- ・5歳児後半の年間指導計画の編成
- ・幼児と児童の交流計画の作成

小学校

- ・スタートカリキュラムの編成
- ・幼児と児童の交流計画の作成

10の姿共有シート
就学時引継ぎシート などの活用

※保育所・幼稚園等と小学校がそれぞれ作成したものを冊子にまとめる必要はありません。

市町村教育委員会・保育主管課

- ・連携する保育所・幼稚園等と小学校の整理
- ・研修会等の実施による作成内容の理解を深める場の設定
- ・保育所・幼稚園等、小学校における作成状況の把握

10の姿共有シート

①健康な心と体

園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる。

幼児期
(学びの芽生え)
年長の後半

入
学

児童期
(自覚的な学びへ)
一年生の入学当初

子どもの姿

- ・「子どもの姿」の欄を3つにしていますが、活用しやすい数に変更してください。手書きをする場合も考え、少し大きめの枠にしています。
- ・各園で卒園間近に見られる子どもの姿を記載するようにしましょう。
- ・交流活動を活用して記載する場合は、保育者と小学校教員それぞれが書いたものを交流すると、見方の違いなどを知り合うことにもなります。
- ・ここに書かれた子どもの姿から資質・能力も見て取ることができます。

- ・園児の「子どもの姿」から、小学校で考えられる児童の姿を記載します。
- ・実際に見られる姿もあると思いますが、こんな姿につながるのではないかと
いった入学後を想像して書いてみるのも大切です。
- ・多様な児童の姿、様々な活動場面で見られる児童の姿を書くことによって、
子どもの姿を捉えていく視点も豊かになります。
- ・交流活動を活用して記載する場合は、保育者と一緒に話し合いながら書いて
みるのもよいでしょう。

保育者が大切にしてきたこと

- ・「子どもの姿」が見られるために、どのような関わりを大切にしているのかを記載します。
- ・保育者が大切に思うことは、保育を見る視点でもあり、記載内容を保育者で共有することは、保育の質の向上にもつながります。

小学校教員が大切にすること

- ・幼児期の学びや経験が生かされる関わりや、授業を行う際に配慮したいことなどを書きます。
- ・「保育者が大切にしてきたこと」から思考するなど、複数の教員で話し合ったりしながら多様な視点で考えてみましょう。